

白山市学童野球連盟大会要綱

大会運営細則 白山市学童野球連盟

- 1) 「2019」年度公認野球規則及び全日本軟式野球連盟「少年野球（学童部）に関する事項」を適用し、一部連盟ルールを採用する。
- 2) 監督、コーチはチームと同一のユニフォームを着用し背番号は、選手は0番から99番までとし、監督は30番、コーチは29、28番とし、主将は10番とする。
ジュニア監督は60番を使用してもかまわない。
- 3) ベンチ入り出来る大人は、監督1名、コーチ2名、スコアラー1名、代表者又は引率責任者1名の5名迄とし全員帽子着用。監督・コーチ以外はユニフォームを着用しなくてもよい。
- 4) 選手は、試合開始30分前に集合し（第2試合目以降は4回終了後）、監督と主将は、メンバー表4通（本部1通原本）、球審1通、相手チーム1通、自チーム控1通）を持って大会本部に集まる。試合開始時刻になっても会場に来ないチームは、棄権とみなします。
- 5) 攻守の決定は（攻守の決定はジャンケンで行う）、その試合の担当球審の立会いの下、執り行う。球審が何らかの都合でいない場合、大会本部がこれの代理をする事ができる。（球審は、時刻に遅れないよう注意する。遅れる場合は大会本部に連絡をする）
- 6) 試合は、7回戦とし勝敗が決定しない場合は特別ルールを1回行いその後は抽選方式を適用する。ただし、決勝戦は次の通りとするが、試合時間を優先する。

両チームが1日1試合の場合

7回を終了して同点の場合は、8回から延長戦に入り、勝負が決定した回で終了とする。延長回数は最高9回までとし、9回を終了しても同点の場合は10回より特別延長戦を行う。

特別延長は勝敗が決定するまで行う。

但し投手が投げられる回数は規定の通りとする。

1日2試合のチームがある場合

7回を終了して同点の場合は、8回より特別延長戦を行い。勝敗が決定するまで行う。但し投手が投げられる回数は規定の通りとする。

☆ 特別ルール（プレーオフ）

両チームとも無死1塁、2塁とし、打順は前回の継続打順とする。

この場合において、走者は当該打順直前の2人を2塁及び1塁に着かせるが、代走・代打を送ってもよい。

投手・野手を交代させても何ら差し支えない。

ただし、一度出場した選手は出られない。

★抽選方式

試合終了時に出場していた両チームメンバーが本塁を挟んで向かい合い、整列して抽選を行う。

審判部（又は運営部）は、○印し及び×印しの抽選用紙をそれぞれ9枚ずつ混ぜ合わせ、先攻チームより交互に1枚ずつ選ばせる。

- 7) 点差によるコールドゲームは5回7点差とし、降雨の場合は5回終了時点で試合は成立する。ただし、★1時間45分を過ぎても5回終了しなかった場合は、5回まで行う。
（決勝戦も適用する）
- 8) 特段の決めが無い限り、一試合の時間制限を1時間45分とし、これを過ぎて次の新しいイニングに入らない。（決勝戦も適用する）
- 9) 第3位決定戦は、行わない。
- 10) ベンチは抽選番号の若い方が1塁側とする。（スコアの記録をする）
- 11) ゲーム中の抗議、選手交代は監督が当事者とする。
- 12) 打者、次打者、走者、ランナーコーチは、ヘルメットを必ず着用しなければならない。又、捕手は（控えの捕手も含めて）ヘルメット・プロテクター・レガース・カップサポーターを着用すること（シートノック、又はブルペンでの投球時も着用する）。しゃがんでボールを受ける場合は、マスクを必ず着用する。
 - ① ブルペンでのキャッチボール、投球練習は各チーム1組に制限する。
 - ② ベンチ前での素振りは、当該打者とネクストバッターのみとする。
 - ③ 監督以外の代表者、コーチ、スコアラーがベンチを出ての指導はできない。
 - ④ 予備のキャッチャーが確保できない場合は代理を認める。ただし事前に申し出ること。
 - ⑤ 小学校が試合会場の場合、ベンチ、応援席の境界ラインをはっきりさせること。
 - ⑥ 会場敷地内は禁煙です、各会場指定された場所にて喫煙すること。

- 13) 試合中のリストバンドを禁止する。ただし、何らかの事情で使用したい場合は、審判・もしくは、大会本部に申し出ること。
手袋は認めるが白もしくは黒を着用する。
- 14) 抽選会は監督と主将（着帽）の2名で参加すること。

監督が出席できない時は必ず代理者（代表者又はコーチ）をたてること。
代理出席の事前連絡がない場合は棄権とみなす。又、大会提出書類に不備があったり遅刻した場合も同様とする。
出場チームは、学校行事等で不都合がある場合、抽選会1週間前までに事務局に報告しなければならない。
- 15) 選手宣誓は、大会抽選会時において、予備抽選1番クジを引いたチームとする。
- 16) チーム紹介などのアナウンスは、各チームで行う。
- 17) 金属バット（木製も含む）は連盟公認のものであること。
落雷、雷雨等の危険を察知した場合、試合を中断、もしくは様子を見ること。
- 18) 各試合の選手の変更、及び背番号の変更がある場合、試合前に申し出ること。
- 19) シートノックは各チーム当日の1試合目前に1回、後攻より5分間とし、当日2試合目からは、これを行わない。
- 20) グラウンド整備は、当該試合の両チームで行うこと。
- 21) 投手は、1日7イニングを超えて投球してはならない。1イニングス制を適用する
ただし、特別延長戦の直前のイニングを投げ切った投手に限り、1日最大9イニングまで投げることができる。（別表1）
- 22) 役員及び運営委員は、責任を持って大会運営にあたること。
- 23) 試合中、ベンチ及びベンチに指定された場所にての飲食・喫煙は禁止する。
- 24) 登録された監督以外の関係者が、公式戦においてチームの指揮をとる場合、指導者登録用紙に記入されている者が指揮を取る。
この時試合開始前までに担当球審及び相手チームの監督に承認を求めなければならない。

25) 試合中、選手に事故が発生した場合直ちに治療を行うこと。但し、治療時間は試合時間に含まないこととする。

26) BSOは3塁側、得点板、ボールボーイは1塁側の選手がなるべく行ってください。審判の給水は3塁側にて行い、試合開始前に何回に行うか球審に確認すること。

(試合上の注意)

- ① 各回の先頭打者、及びランナーはミーティングに参加しないで、直ちに定位置に着くこと。
- ② バット、ヘルメット、ボールなどグラウンド内に置かぬこと。
- ③ 野手は、走者に対して、どの塁にかかわらず、一角をあけること。
- ④ 内野手の転送球は、これを禁止する。
- ⑤ 指導者が学童に対する暴力的行為は許されない。
- ⑥ 大会主旨を十分に理解し、目にあまる行為があった場合は、審判部、運営委員、理事会が協議して、それ相当のパナルティーを課すものとする。
- ⑦ 4回終了時、本部席において先攻後攻を決めるので、時間に遅れないよう両チーム主将と監督は本部席にメンバー表（フルネームで記入したものを4部）を持って集まる。
(大会運営細則 4)・5)の厳守)

(各チームへの注意事項)

- ① 駐車場は各会場のルールに必ず従って下さい。(モラルですから、必ず守ってください)
- ② 試合会場の準備、後片付け等は、指示が無くても積極的に手伝うこと。
- ③ 試合中における選手、又は審判員に対する観客からの好ましくない野次、抗議は厳禁します。
- ④ 球場への移動及び試合中(付き添いの幼児)の事故には充分注意してください。
(大会本部で、責任はもてません)
- ⑤ たばこは、所定の場所以外では喫煙しないこと。
(白山市の小学校では、敷地内は禁煙です)
- ⑥ グラウンド周辺での飲酒は厳禁です。(子供達と一緒に、応援して下さい)
- ⑦ 選手及びチーム関係者は、「ゴミ」を自宅に持ち帰って下さい。
- ⑧ 試合後、忘れ物の無い様確認して帰宅して下さい。

改定履歴（公認野球規則の年度変更は改定に含まない）

平成17年	5月	制定	初版
平成21年	3月	改定	第1版
平成23年	3月	改定	第2版
平成23年	6月	改定	第3版
平成25年	4月	改定	第4版
平成26年	3月	改定	第5版
平成27年	3月	改定	第6版
平成27年	6月	改定	第7版
平成29年	3月	改定	第8版
平成30年	3月	改定	第9版
2019年	3月	改定	第10版
2019年	6月	改定	第11版
2019年	7月	改定	第11.1版